

公衆衛生看護学分野

論文

A 欧文

A-a

- 1 . Hirano YO, Tamagawa R, Matsumoto T: Factors influencing the psychological independence of retired community-dwelling older adults in Japan.. *Frontiers in psychology* 13: 2022. doi: 10.3389/fpsyg.2022.1004645. (IF: 3.9)
- 2 . Kosaka K, Nakao R, Goto C, Umezaki M, Ohnishi M: Food store accessibility affects nutritional intake through shopping frequency and food intake in middle-aged to older adults in rural Nagasaki, Japan. *American Journal of Human Biology* 34(6): e23725, 2022. doi: 10.1002/ajhb.23725. (IF: 2.9)
- 3 . Hirano YO, Uchino R, Tanaka S, Doi M, Aramaki K: Factors Predicting the Quality of Life of University Students in Japan Amidst COVID-19: A Cross-Sectional Study. *Frontiers in Psychology* 13: 2022. doi: 10.3389/fpsyg.2022.931381. (IF: 3.9)
- 4 . Honda A, Fauth EB, Liu Y, Honda S: Predictors of effort–reward imbalance among employees providing three types of long-term care services in Japan: Implications for employee well-being. *Journal of Applied Gerontology* 41(2): 341-351, 2022. doi: 10.1177/0733464821997210. (IF: 3)
- 5 . Miyashita A, Nakamura K, Ohnishi M, Bintabara D, Shayo FK, Maro I, Sato H, Seino K, Kibusi S: Reaching Patients with Noncommunicable Diseases in Rural Tanzania using Mobile Devices and Community Trust: Qualitative Study. *JMIR mHealth and uHealth* 10(3): e29407, 2022. doi: 10.2196/29407. (IF: 5)
- 6 . Masuda M, Natsuhara K, Sueyoshi S, Odani S, Yagyu F, Tadokoro K, Ohnishi M, Nakao R, Goto C, Umezaki M: Association between the dietary inflammatory index and disability in Japanese older people. *Public Health Nutr* 25(11): 3137-3145, 2022. doi: 10.1017/S1368980022001604. (IF: 3.2)
- 7 . Kawakatsu Y, Sugishita T, Aiga H, Oruenjo K, Wakhule S, Honda S: Effectiveness of four interventions in improving community health workers' performance in western Kenya: a quasi-experimental difference-in-differences study using a longitudinal data.. *Primary Health Care Research & Development* 23: e20, 2022. doi: 10.1017/S1463423622000135. (IF: 1.6)
- 8 . Mizuno Y, Masuoka H, kibe M, Kosaka S, Natsuhara K, Hirayama K, Inthaong N, Kounnavong S, Tomita S, Umezaki M: Impact of modernization on urinary concentrations of arsenic, cadmium, lead, and selenium in rural residents of Northern Laos. *American Journal of Human Biology* 34(4): e23685, 2022. doi: 10.1002/ajhb.23685. (IF: 2.9)
- 9 . Kit A, Arima K, Abe Y, Mizukami S, Tomita Y, Hasegawa M, Sou Y, Nishimura T, Ohnishi M, Aoyagi K: Association between mothers' attachment styles and parenting stress among Japanese mothers with toddlers. *Psychiatry International* 3(2): 122-130, 2022.
- 10 . Hara K, Kuroda H, Matsuura E, Ishimatsu Y, Honda S, Takeshita H, Sawai T: Underbody blankets have a higher heating effect than overbody blankets in lithotomy position endoscopic surgery under general anesthesia: a randomized trial. *Surgical Endoscopy* 36(1): 670-678, 2022. doi: 10.1007/s00464-021-08335-y. (IF: 3.1)
- 11 . Iso F, Mitsunaga W, Yamaguchi R, Shimizu N, Ito S, Honda Y, Okubo A, Honda S, Iso N, Higashi T, Tsujino A: Relationship among trunk control, activities of daily living, and upper extremity function during the first week after stroke in patients with acute cerebral infarction.. *Journal of Physical Therapy Science* 34(4): 315-319, 2022. doi: 10.1589/jpts.34.315.
- 12 . Miyazaki Y, Kiguchi T, Sato S, Usuki K, Ishiyama K, Ito Y, Suzuki T, Taguchi J, Chiba S, Dobashi N, Tomita A, Harada H, Handa H, Horiike S, Maeda T, Matsuda M, Ichikawa M, Hata T, Honda S, Iyama S, Suzushima H, Moriuchi Y, Kurokawa T, Yokota K, Ohtake S, Yamauchi T, Matsumura I, Kiyoi H, Naoe T: Prospective comparison of 5- and 7-day administration of azacitidine for myelodysplastic syndromes: a JALSG MDS212 trial.. *International Journal of Hematology* 116(2): 228-238, 2022. doi: 10.1007/s12185-022-03347-3. (IF: 2.1)
- 13 . Hayashi H, Ashizawa K, Takahashi M, Kato K, Arakawa H, Kishimoto T, Otsuka Y, Noma S, Honda S: The diagnosis of early pneumoconiosis in dust-exposed workers: comparison of chest radiography and computed tomography. *Acta Radiologica* 63(7): 909-913, 2022. doi: 10.1177/02841851211022501. (IF: 1.3)
- 14 . Yamamoto N, Morimoto Y, Kinoshita H, Kumazaki H, Honda S, Iwanaga R, Imamura A, Ozawa H: Game-related behaviors among children and adolescents after school closure during the COVID-19 pandemic: A cross-sectional study. *Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports* 1(3): e37, 2022. doi: 10.1002/pcn5.37.
- 15 . Yoshino Y, Sato M, Abu-Siam I, Khost N, Honda S, Qarawi AT, Hassan OG, Huy NT, Kamiya Y: Assessment of physical activity and its facilitators and barriers among Syrian refugees living in Amman City, Jordan: a cross-sectional study. *BMC Public Health* 22(1): 1732, 2022. doi: 10.1186/s12889-022-14064-1. (IF: 4.5)

B 邦文

B-a

1. 徳田洋祐, 阿部研二, 内田信二, 本田純久, Doosub Jahng: 職場内のコミュニケーションに対する認識とメンタルヘルス不調の自覚との関係. バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌 24(1): 1-6, 2022.

B-c

1. 小坂理子, 梅崎昌裕: 自然と人間の持続的な関係. 臨床栄養 140(6): 818-822, 2022.

B-d

1. 大西眞由美, 梅崎昌裕, 中尾理恵子, 川崎涼子, 田中準一: 地域住民の食生活と腸内細菌叢および体内重金属曝露の関連. 共済エグザミナー通信 (51): 59-69, 2022.
2. 小野真代, 本田純久: 子ども虐待被害と健康関連QOLとの関連に影響を与えるレジリエンスと保護要因の文献レビュー. 保健学研究 35(1): 11-21, 2022.
3. 中尾理恵子, 大西眞由美, 増田桃佳, 梅崎昌裕: 長崎県内の3地域における住民の食生活の特徴 食生活に関わるキーインフォーマントインタビューから. 保健学研究 35(1): 29-36, 2022.

B-e-1

1. 永田康浩, 本多由起子, 中尾理恵子, 井口 茂: 高齢者における居住環境と健康に関する研究. 日本公衆衛生学会総会抄録集 : 221, 2022.
2. 柳澤沙也子, 中村安秀, 大西眞由美: インドネシアにおける高齢者の血圧と保健施設へのアクセスに影響する要因. 日本公衆衛生学会総会抄録集 : 444, 2022.
3. 西原三佳, 大西眞由美, 中村安秀: 東日本大震災復興期における子育て関連要因の経年変化と支援に関する一考察. 日本公衆衛生学会総会抄録集 : 401, 2022.
4. 大西眞由美: 母と子のいのちと健康を守る、日本から世界へ、世界から日本へ! 母と子の健康をまもる縦横の多分野・多職種連携・協働による社会的包摂. 日本公衆衛生学会総会抄録集 : 75, 2022.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	0	2	10

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
大西眞由美・教授	理事	日本国際保健医療学会
大西眞由美・教授	代議員	日本公衆衛生学会
大西眞由美・教授	理事	日本看護学教育評価機構
大西眞由美・教授	理事	日本フォレンジック看護学会
大西眞由美・教授	委員長	長崎県再犯防止推進ネットワーク協議会
大西眞由美・教授	委員	長崎県精神保健福祉審議会
大西眞由美・教授	委員	全国保健師教育機関協議会
大西眞由美・教授	保健事業支援・評価委員会 委員 委員長	長崎県国民健康保険団体連合会
大西眞由美・教授	評議員	日本熱帯医学会
平野裕子・教授	理事	日本健康支援学会
平野裕子・教授	理事	日本保健医療社会学会
本田純久・教授	健康ながさき21推進会議小委員会委員	長崎県
本田純久・教授	評議員	日本健康学会
本田純久・教授	代議員	日本疫学会
中尾理恵子・教授	評議員	日本健康学会
中尾理恵子・教授	抄録査読委員	日本看護学会
中尾理恵子・教授	査読委員	全国保健師教育機関協議会
中尾理恵子・教授	委員	長崎県障害者施策推進協議会
中尾理恵子・教授	委員	長崎市建築審査会
中尾理恵子・教授	委員	長崎県福祉のまちづくり推進協議会
中尾理恵子・教授	委員長	諫早市地域密着型サービス運営委員会
中尾理恵子・教授	会長	長崎市地域密着型サービス事業者選定審査会

川崎涼子・准教授	代議員	日本地域看護学会
川崎涼子・准教授	産業保健相談員	独立行政法人労働者健康安全機構長崎県産業保健総合支援センター
川崎涼子・准教授	査読委員	一般社団法人日本地域看護学会
川崎涼子・准教授	「ALS基金」研究奨励金選考委員	一般社団法人日本ALS協会
川崎涼子・准教授	査読委員	日本公衆衛生学会看護学会
川崎涼子・准教授	理事	特定非営利活動法人 長崎斜面研究会
川崎涼子・准教授	運営委員	日本ALS協会長崎県支部
柳澤沙也子・助教	「関西グローバルヘルスの集い」運営委員、機関誌「目で見るWHO」編集委員	公益社団法人日本WHO協会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
小坂理子・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「栄養転換の進展と栄養不良の二重負荷—インドネシア・スンダ農村での継続的観察調査—」
小坂理子・准教授	ロッテ財団	代表	奨励研究助成(B)「高齢人口と食料品店の分布の地理的(ミス)マッチ—全国を対象とした経時的分析」
大西眞由美・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「薬物事犯者の地域生活定着を支える司法分野と保健師の連携・協働体制構築」
大西眞由美・教授	日本学術振興会	分担	在日外国人の災害対策における特有のニーズと共助の担い手としての可能性の探求
大西眞由美・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「女性外国人技能実習生のリプロダクティブヘルスニーズに対する支援の構築」
本田純久・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「青年期における体罰容認意識の関連要因—親性準備性促進プログラム開発に向けて—」
本田純久・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「イスラームを国教とするバングラデシュにおける女性の性機能障害の実態と障害への対処」
本田純久・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「介護職員として働きながら親を介護している多重介護者のストレスマネジメントの実際」
本田純久・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「高齢者の介護購買力が家族介護者の仕事と生活に与える影響」
本田純久・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「子どもはいかに出生コホート調査参加意識を形成しインフォームド・アセントに至るのか」
本田純久・教授	国立がん研究センター	分担	がん研究開発費「共同研究グループのデータセンター間の連携によるがん治療開発研究の効率化と質的向上のための研究」
本田純久・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「多文化共生社会を生きる外国人家事労働者を活用した高齢者介護モデルの構築」

中尾理恵子・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「近隣居住環境と住民の買物行動及び栄養摂取に関する調査：フードデザート観点から」
中尾理恵子・教授	公益財団法人かんぼ財団	代表	令和4年度調査研究助成「離島・へき地における超高齢女性の健康長寿に関連するファクターの探索—ポジティブデビアンスの視点からのインタビュー調査—」
川崎涼子・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「健診未受診者対応から「自ら支援を求めない人々」の健康生活実現に向けて」
川崎涼子・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「生活習慣病等の健康課題をもつ元受刑者への保健師による健康支援の構造化」
川崎涼子・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「女性外国人技能実習生のリプロダクティブヘルスニーズに対する支援の構築」
柳澤沙也子・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「地域で働く看護職によるヤングケアラーの支援における連携体制の構築」

その他

非常勤講師

氏名・職	職(担当科目)	関係機関名
平野裕子・教授	非常勤講師(医療社会学)	福岡医健・スポーツ専門学校
平野裕子・教授	非常勤講師(社会学)	長崎市医師会看護学校

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
大西眞由美・教授	「国保連合会保健事業支援・評価委員会」報告会—自治体へ訪問型支援	国保新聞	2022/1/1	長崎県国民健康保険連合会支援評価委員会での活動について、自治体訪問型支援に係る報告が掲載された。国民健康保険における医療費適正化および国民の健康寿命の延伸への貢献が期待できる。

学術賞受賞

氏名・職	賞の名称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
小坂理子・准教授	2022年度日本健康学会優秀論文賞	日本健康学会	The proportion of older population in Nagasaki, Japan, is higher in areas with poor walkability and accessibility